

中学校の保護者の皆様へ

令和元年度全国及び袋井版学力・学習状況調査結果報告（中学校）

1 学力・学習状況調査の概要

袋井市では、全国学力・学習状況調査に加え、小学校 5 年生、中学校 2 年生を対象に、袋井版学力・学習状況調査を実施しています。それぞれの調査の実施内容は以下のとおりです。

「全国学力・学習状況調査」
文部科学省が、全国の公立小中学校の小学 6 年、中学 3 年を対象として、毎年 4 月中旬に国語と算数・数学、英語（3 年に 1 回、中学校のみ）の 3 教科や生活習慣等について調査を実施しています。今年度から、知識と活用が一体となった問題になりました。

「袋井版学力・学習状況調査」
袋井市独自に小学 5 年、中学 2 年を対象として、左と全国学調と同じ日に国語と算数・数学の 2 教科や生活習慣等について調査を実施しています。本調査の実施の規模は、袋井市の他に、全国の希望する自治体や学校となっています。

以下に、平成 31 年 4 月に実施された結果を掲載しました。

2 全国学力・学習状況調査の結果からみた児童の傾向【中学校 3 年生】

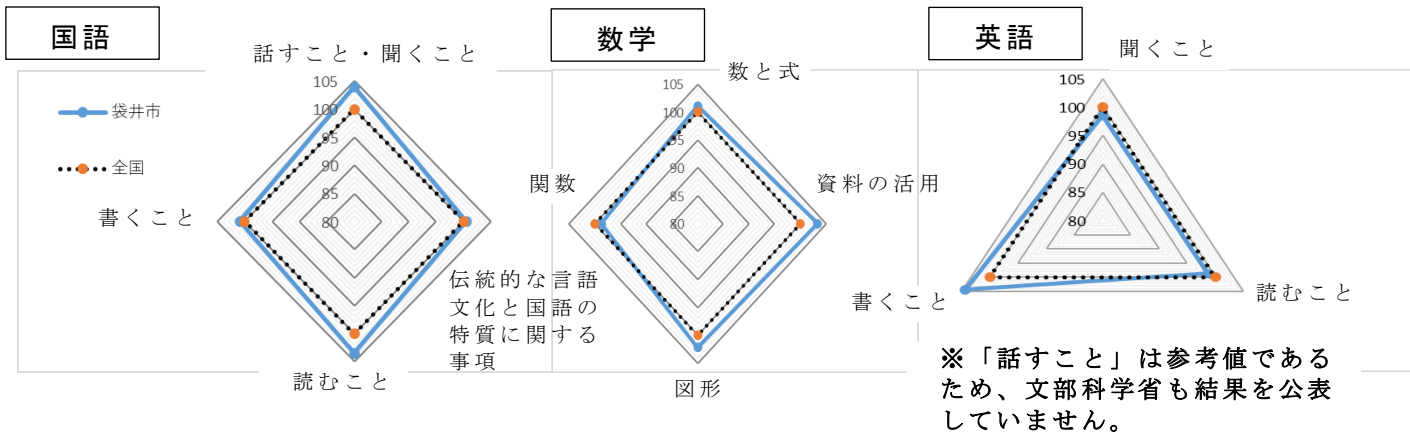
(1) 教科に関する調査の結果

表 1 全国平均正答率と比べた袋井市の指数

	国語	数学	英語
中学校 3 年生	102.5	101.7	100.4

※全国平均正答率を 100 とした指数で数値を表しています。

(2) 学習指導要領の領域の結果



(3) 良いところ(○)と課題(▲)

国語	数学	英語
○文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えるとともに、自分の考えを明確にして記述する。 ▲伝えたい事実や事柄について、根拠を明確にして書く。	○資料を整理した表から問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断する。 ▲事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する。	○ 3 人称単数現在時制の肯定文や否定文を正確に書く。 ▲英文を聞いたり読んだりして把握した内容について、適切に対応する。

(4) 生活習慣や学習環境に関する調査の結果

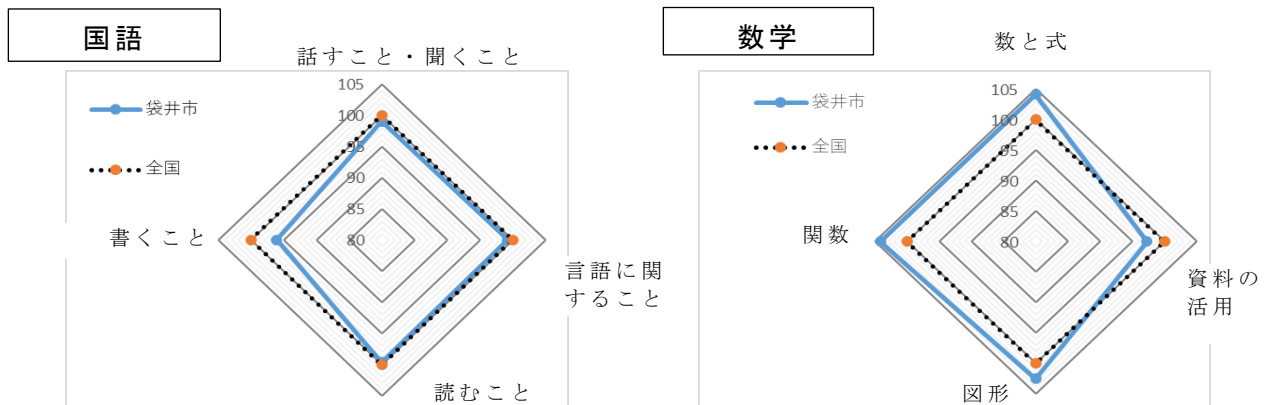
- ・規範意識に関する項目（きまりを守る、困っている人を助ける）は、例年と同様に意識の高さが見られます。また、地域行事への参加や、地域社会について考えるなどの項目については、県や全国の平均を大きく上回っています。
- ・「物事を最後までやり遂げると嬉しい」、「失敗を恐れなくて挑戦する」、「学級で協力して取り組んで嬉しかったことがある」などの項目の回答は、全国平均を大きく上回っています。
- ・「読書が好き」と肯定的に回答する生徒は、3教科ともに正答率が高いという相関関係が見られました。
- ・「英語は大切」と回答する生徒が多い一方で、「将来、英語を使うような職業に就きたい」と回答する生徒は全国よりも少なかったです。英語を使ったコミュニケーションを楽しめる機会の、更なる充実が望まれます。

3 袋井版学力・学習状況調査の結果からみた児童の傾向【中学校2年生】

(1) 教科に関する調査の結果

	国語	数学
中学校2年生	99.3	102.6

※全国平均正答率を100とした指数で数値を表しています。



(2) 課題

	国語	数学
中学2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いで書く。(基礎) ・□に当てはまる文章を、指定された文字数や単語を使って書き入れる。(応用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・おうぎ形の弧の長さを求める。(基礎) ・文字で表された数量の意味を答える。(応用)

4 考える力を育成するために…

- 「思考ツール」を活用した授業に取り組みます。

中学2年生は、自分の考えをはっきりと記述することに課題があることが分かりました。今後は、各校で取り組んでいる思考ツールを活用した授業をさらに進めることで、子どもの「考える力」の育成を図っていきます。

- 「家庭学習すすめ」を配付して家庭学習の充実を図ります。

7月には全生徒の保護者を対象に、家庭学習の理念や自主学習の事例等を掲載したリーフレット「家庭学習のすすめ」を配付しました。学校での学びと家庭での学びの両輪で、「考える力」の育成を図っていきます。

※各学校の結果の詳細は、各学校から後日、お知らせします。

